

D 日本史問題

注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は16ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しくずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I. 次の文1～6を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 8世紀には日本列島の中心部に律令国家が成立する。701年に完成した（イ）には諸外国や列島内における諸種族に関する規定が盛りこまれていた。天皇を頂点とする統治権のおよぶ範囲を「化内」、その外の地域を「化外」とし、「化外」はさらに「隣国」（くあ）と「蕃国」（新羅）、^{いてき}「夷狄」（^{ちゆう}「蝦夷」等）の3つの範疇に分けられていた。こうしてこの国家は「くい」の小帝国の体裁を整えたが、8世紀の末には早くもその空洞化が目立つようになった。

¹⁾ 古代から中世初頭にかけて、「化内」の拡大、すなわち蝦夷の日本化が進んだ。その呼び方も（ロ）からエゾに変わり、「蝦夷」は津軽海峡以北に押しやられた。その時期にこの広大な境界地域（現在の東北地方）では、安倍・清原・藤原の在地権力が継起した。その呼称もまた、「（ハ）の長」、²⁾「陸奥国押領使」・「陸奥守」などと変化したが、その支配地域も陸奥六郡（安倍氏）から東北地方全体（藤原氏）へと拡大した。いわゆる「藤原三代」の初代清衡は、奥州三関の1つであり、奥州への窓口でもあったくうの関から外の浜（外が浜）までを支配下に置き、蝦夷地との交易ルートも掌握していたと考えられる。

2. その跡を継承したのが、津軽安藤（東）氏だった。奥州藤原氏を滅ぼした源頼朝は、東北地域の支配権「^{えぞさた}蝦夷沙汰」を接収した。その後、蝦夷代官（後の蝦夷管領）に任ぜられた安藤氏は、東北地域を支配下に置くと同時に、本拠の津軽十三湊（現青森県五所川原市）を起点に、³⁾蝦夷地から京都にいたる環日本海の交易ルートを押さえ、北方交易を手中にしていたと推定されている。

1482年には「^{えぞしまおうかしや}夷千島王遐叉」の使者なる者が朝鮮に遣使し、大蔵経を求めた。その素生については諸説あるが、いずれにしてもこの事例は、日本列島北方の住民の活動が朝鮮半島にまでおよんでいたことを示している。しかし、この遣使よりすこし前の15世紀半ばに、安藤氏は八戸を根拠地とするくえ氏との抗争に敗れて「蝦夷ヶ島」の渡島半島に逃れ、十三湊も没落したと伝えられている。

その頃渡島半島の南部には、12の（ニ）と呼ばれる在地勢力が割拠し、その中には近世大名松前氏の祖となる^{かきざき}蠣崎氏も含まれていた。渡島半島では1457年の（ホ）の戦いからほぼ100年もの間、断続的に争乱状態が続く。従来この争乱は、松前氏の家譜『新羅之記録』（1646年成立）の記述のままに、アイヌの和人（ニ）に対する最初の民族闘争と考えられてきた。しかし現在では、この地域における安藤氏とくえ氏

の対立を背景にした、アイヌ勢力も含む（ニ）たちの覇権争いとの見方が強くなってきている。その過程で和人とアイヌの区別化も進んだのだろう。そのような状態は蠣崎氏とアイヌとの、いわゆる「天文の講和」で一段落し、蠣崎氏の渡島半島南部の覇者としての地位とともに、和人の居住地であり、蠣崎氏の所領でもある和人地の原型が成立した。

3. 豊臣秀吉の朝鮮侵略戦争が始まって間もない1593年に、蠣崎慶広は肥前〈お〉の秀吉の下に参陣した。秀吉は慶広に朱印状を与えて、諸国商人の船役徴収権を安堵するなど、蠣崎氏の権益を保証し、同氏を自らの政権に組みこんだ。また秀吉は慶広の参陣を、「高麗国」を手に入れたも同然と喜んだと伝えられており、慶広は朝鮮に渡海することなく帰国した。当時「オランカイ」などと呼ばれた鴨緑江以北の地域では、ヌルハチの率いる女真族が勢力を増しつつあった。⁴⁾ヌルハチは後の清朝の基礎を作った人物である。慶広が朝鮮に渡海することなく帰国したのは、北からの脅威に対する備えでもあったと考えられる。

帰国した慶広は、東西のアイヌを呼び集め、秀吉の朱印状の文言をアイヌ語で読み聞かせ、蠣崎氏の命に背いたり、諸国から往来する「シャモ」⁵⁾に対し危害を加えるようなことがあれば、「〈か〉殿」は数十万の軍勢でアイヌを討伐するだろうと恫喝したという。それはアイヌが、蠣崎氏を介して日本の統一政権と対峙することになった瞬間だった。

豊臣政権を引き継いだ徳川政権も、蠣崎氏を介しての蝦夷地支配をさらに一歩進めた。1599年に大坂城で慶広を謁見した徳川家康は、「蝦夷ヶ島」の絵図を見ながら、高麗の北方の情勢について語ったと伝えられる。なお、この折に蠣崎氏は松前氏に改姓した。

1604年に家康は松前慶広に黒印状を与えてアイヌ交易の独占を認めた。また、同年の朝鮮国王使節の来日をもって日朝講和の成立と見なし、その功によって、宗氏の朝鮮関係の独占を認めている。こうして、徳川將軍とそれぞれの大名との封建的な主従関係にもとづきながら、国際関係を運営・管理・統制する体制が整備されていく。⁶⁾

4. 17世紀後半の経済動向を象徴するのが、いわゆる「（へ）の台所」としての大坂の地位の確立とその大坂と環日本海地域を結ぶ西廻航路の整備だった。この航路は17世紀前半に金沢藩によって開かれ、1672年に〈き〉によって改良・整備されて、北陸諸藩や幕府の年貢米を廻送する重要な航路となり、上方と環日本海地域を結ぶ大動脈となった。

松前藩は当初、(ト)知行制という独自の知行形態をとっていた。しかし、(ト)の経営不振と藩財政の困窮を契機に、知行主がその経営を、運上金をとって近江商人らの特権商人に請け負わせるようになった。これを場所請負制といい、その転換は17世紀末から18世紀初めにかけて起きたとされている。それ以前の1669年に(チ)の戦いが起き、場所請負が蝦夷地(北海道)全域におよんだ時期の1789年に、現在の根室を中心にクナシリ・メナシの戦いが起きた。

この間に、長崎貿易の中国向け輸出品に俵物や昆布などの海産物が導入され、1740年に蝦夷地が幕府の輸出海産物の集荷体制に組みこまれてからはその最大の産地となった。また、国内における商業的農業の展開も蝦夷地産の金肥への需要を高め、さらに国内の生産力向上にともなう庶民生活の向上もまた、これらの海産物への需要を高めた。これらの要因によって蝦夷地は日本の経済動向により深く結びつけられ、アイヌの生活も和人との関係から得られる、米・酒・鉄製品等への依存度を高めていくのだが、この段階ではまだかろうじて固有の生活形態を残していた。

5. 西廻航路を代表する廻船である(リ)は、19世紀前半から最盛期に向かうと言われるが、その背景には国内の商品流通の量的な発展とともに質的な変化があった。例えば輸入砂糖と、<く>藩によって独占的に日本(大坂)市場に供給されていた琉球・奄美の黒糖が、18世紀末には値崩れを起こす。それは、「和三盆」など国産の精製砂糖の生産が伸び、大坂への集荷が大幅に増加したためだった。19世紀に入ると幕府は、貿易の保護等のためにそれらの精製砂糖の大坂への集荷量を制限し、さらに生産の抑制を命じた。それに対して、産地である四国地方の諸藩は、大坂を経由しない新たな販売ルートを開拓していく。こうして、新たな市場が旧来の幕藩制的な市場構造を機能不全に追いこんでいく。19世紀前半の<く>藩による、琉球を介して蝦夷地産の昆布と清の葉種などを交換する密貿易や、それと連携しながら全国的に展開していく<け>の売薬網なども、その一例である。そこには、環日本海を越えて環シナ海と連節しながら脈動する人々の地道で力強い営みがあり、蝦夷地もその一環に組みこまれていた。

6. 幕末から明治維新期にかけては、「日本」の独立や安全保障とともに、境界地域の領有が周辺の国家との間での外交案件となった。それぞれ、1870年代以降に結ばれた条約や領有の確定によって近代的な国境が定まった。こうして近代日本は、パワー・ポリティクス、国家主権、条約の3要素を軸とする新たな国際社会を生きることになる。

その一方で、蝦夷地は北海道と改称され、1886年の道庁設置以後の大資本の導入と大

規模な開拓で、アイヌからの土地収奪は内陸部に及び、おりからの松方デフレによる移民の急増で和人人口が倍増したことなどで、アイヌの生活・文化の破壊は全民族的規模に達した。アイヌは道内全域で少数者となり、貧困や病苦にあえぐアイヌにたいする和人の蔑視・差別もまた日常化した。1899年の「(ヌ)法」は、困窮に陥ったアイヌを、「一視同仁ノ叡旨」のもと、農業強制と皇民化教育を通じて「救済」することをうたっている。その前年、¹³⁾ 沖縄・小笠原とともに、全道に〈こ〉が施行されていることは、「救済」の真意をよく示している。ちなみに、〈こ〉は他の地域では1873年に施行されている。

A. 文中の空所(イ)～(ヌ)それぞれにあてはまる適切な語句をしるせ。

B. 文中の空所〈あ〉～〈こ〉にあてはまる適切な語句を、それぞれ対応する次の a～d から 1 つずつ選び、その記号をマークせよ。

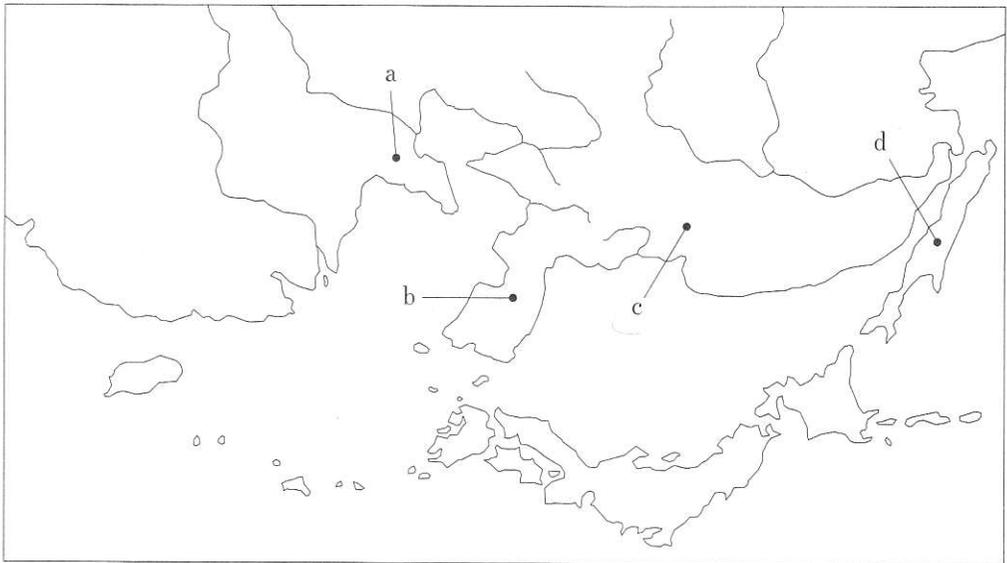
- | | | | | |
|-----|---------|-----------|---------|-----------|
| 〈あ〉 | a. 隋 | b. 宋 | c. 唐 | d. 北魏 |
| 〈い〉 | a. 西戎 | b. 東夷 | c. 南蛮 | d. 北狄 |
| 〈う〉 | a. 碓氷 | b. 白河 | c. 勿来 | d. 箱根 |
| 〈え〉 | a. 蘆名 | b. 伊達 | c. 南部 | d. 最上 |
| 〈お〉 | a. 唐津 | b. 佐賀 | c. 長崎 | d. 名護屋 |
| 〈か〉 | a. 関白 | b. 宰相 | c. 將軍 | d. 大君 |
| 〈き〉 | a. 河村瑞賢 | b. 末吉孫左衛門 | c. 角倉了以 | d. 茶屋四郎次郎 |
| 〈く〉 | a. 唐津 | b. 熊本 | c. 薩摩 | d. 福岡 |
| 〈け〉 | a. 金沢 | b. 富山 | c. 新潟 | d. 福井 |
| 〈こ〉 | a. 戸籍法 | b. 徴兵令 | c. 廢刀令 | d. 身分解放令 |

C. 文中の下線部 1)～13)にそれぞれ対応する次の問 1～13に答えよ。

1. このような空洞化の進展を示す出来事はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

- | | |
|-------------|--------------|
| a. 遣唐使の途絶 | b. 高句麗使の性格変化 |
| c. 新羅使の性格変化 | d. 渤海使の途絶 |

2. 安倍頼時が藤原経清らと起こした1051年に始まる反乱はどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 後三年の役 b. 前九年の役 c. 平治の乱 d. 保元の乱
3. 安藤氏の勢力伸長の背後には、北条得宗家の存在があったと考えられている。安藤氏を蝦夷代官に任じ、また、承久の乱の際に得宗だった人物はどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 北条時房 b. 北条時政 c. 北条泰時 d. 北条義時
4. この地域はどれか、次の地図の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。



5. この呼称はアイヌ語の「シサム」(隣人) からきているという。「シャモ」とはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 中国人 b. 朝鮮人 c. 日本人 d. ロシア人
6. この関係は、鎌倉時代以来伝統的に、「(a) と (b)」のように、2文字ずつの概念の組み合わせで表現されてきた。これら 2つの概念を、解答用紙の所定欄にしるせ。順序は問わない。
7. この事件の 3年後に、ロシア使節ラクスマンが根室に来航して通商を求めたが、その船で帰国した漂流民からの聞き書きをまとめた書物はどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 赤蝦夷風説考 b. 環海異聞 c. 辺要分界図考 d. 北槎聞略

8. この種の商品作物を当時「四木三草」と呼んだが、四木でないものを次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 漆 b. 桐 c. 桑 d. 茶
9. これに該当しないものを、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 稲作 b. 漁撈 c. 交易 d. 採集
10. この時期に成立した書物でないのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 鎖国論 b. 西説内科撰要 c. 東海道中膝栗毛 d. 蘭学事始
11. これらの出来事の年代順の正しいものを、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 樺太・千島交換条約—小笠原諸島領有—沖繩県の設置—台湾領有
- b. 樺太・千島交換条約—沖繩県の設置—台湾領有—小笠原諸島領有
- c. 沖繩県の設置—小笠原諸島領有—台湾領有—樺太・千島交換条約
- d. 沖繩県の設置—台湾領有—樺太・千島交換条約—小笠原諸島領有
12. この年として適当なものを、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 1868年 b. 1869年 c. 1870年 d. 1871年
13. この言葉の意味として適当なものを、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. すべての人を差別なく平等に愛す
- b. すべての人はそれぞれの分をわきまえよ
- c. すべて人は上下の差別があつて当然である
- d. まず自分で努力することが肝心である

Ⅱ. 次の文1～3を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 文部科学省による2010年度「学校基本調査」によれば、現在、全国の大学の数は778校であり、学生数は280万人を超える。高校を卒業した者の実に50パーセント以上が大学に進学するのであって、大学は私達にとって非常に身近な存在である。しかし、かつての大学は、広くその門戸を開いていたわけではなかった。

1871年、明治政府は文部省を新設し、翌1872年には、フランスなどの学校制度にならった(イ)を公布した。(イ)によれば、全国を8大学区にわけ、各大学区に大学校1、中学校32、各中学区に小学校210を設けることとなっていた。その後、1877年には、江戸時代の開成所¹⁾、医学所を起源とする東京開成学校および東京医学校を統合する形で、東京大学が設立された。この大学は、1886年の帝国大学令により、帝国大学に改組された。これに続いて、1897年には京都²⁾、1907年には東北など、半世紀ほどをかけて9つの帝国大学が創設されていった。

他方、政府の手によらない高等教育機関として、特色ある学風を誇る私立学校も次々に創設されていく。たとえば、福沢諭吉³⁾の慶応義塾、(ロ)の同志社がある。これらに、大隈重信のくあ⁴⁾(現在の早稲田大学)などが続いた。立教大学は、1874年に立教学校として誕生した。その後、1883年に立教大学校と改称、1903年に(ハ)令が公布されると、これにともなって1907年に文部省の認可を受け、立教大学と改称した。

現在では、大学数のうちの75パーセントを私立大学が占めるようになっており、私学は日本における高等教育に大きな役割を果たしている。

2. 現在の日本国憲法第23条は学問の自由を保障しており、これにもとづき大学には自治が認められると解されているが、かつて、大日本帝国憲法⁵⁾には、これに対応する条文が存在しなかった。では、大日本帝国憲法⁶⁾下で、学問の自由は尊重されていたのであろうか。

1914年、沢柳事件と称される出来事が起きる。1913年に京都帝国大学総長に任ぜられた沢柳政太郎は、7人の教授に辞表を提出させた。このような恣意的な人事に反対した同帝国大学法科大学教授らは、教授の人事権は教授会にあるとして、1914年1月、全員で辞表を提出してこれに抗議した。ときの山本権兵衛⁷⁾内閣の文部大臣奥田義人は、問題の收拾をはかったが、その際に、教授側に軍配⁸⁾を上げた。この時期は、政党政治⁸⁾への期待が高まり大正デモクラシー⁹⁾と呼ばれる自由主義的な風潮が広がった時期であり、この

事件をめぐって、人事に関する大学の自治が認められたかに見えた。

ところが、満州事変後、軍部が政治的発言力を増すと、学問への弾圧が公然と行われるようになった。京都帝国大学教授滝川幸辰が著した『刑法読本』が国家秩序を揺るがしかねない書物であるなどとされて糾弾されるという滝川事件が起こった。ときの文部大臣（ニ）は同教授を休職処分とし、これに対して、京都帝国大学法学部教授陣が辞表を提出して抵抗するも、休職処分が撤回されることはなく、人事に関する大学の自治は政府により否定される結果となった。

また、憲法学者（ホ）の主張する天皇機関説が、貴族院本会議における＜い＞男爵議員の演説によって非難されたことをきっかけとして、この学説の当否が政治問題化するという事件も起こった。当時の岡田啓介内閣は、右翼勢力に屈し、二度にわたって「（へ）」¹⁰⁾を出し、天皇機関説を排斥すべきものとした。この事件によって、（ホ）は、不敬罪で告発され、貴族院議員の地位を追われた。

このように、国家が学問の自由を侵害したという苦い経験を踏まえて、日本国憲法制定の際にあえて置かれた条文が、現在の憲法第23条なのである。

第二次世界大戦後、一連の改革によって、大学における学問に対する国家からの抑圧が取り除かれると、戦前および戦中には弾圧の対象となっていたマルクス主義も急速に復活を遂げた。また、＜う＞の経済史学、＜え＞の法社会学などが、学界に大きな影響を与えた。

3. 第二次世界大戦後には、大学が紛争の舞台となったこともある。

岸信介内閣は、「＜お＞」をスローガンに、1951年に締結された日米安全保障条約¹¹⁾の改定をめざした。岸内閣は、当初改定に積極的ではなかったアメリカと交渉し、1960年1月には、日米相互協力及び安全保障条約（新安保条約）の調印にこぎつけた。ところが、新たな条約に対して、革新勢力からの反対運動が巻き起こった。日本社会党、日本共産党、労働組合、全学連（全日本学生自治会総連合）らに加えて、¹²⁾一般市民も参加し、連日、デモ隊が国会を取り囲む事態となったのである。同年6月には、国会議事堂正門前で、デモ隊と警官隊とが衝突し、デモに参加していた東京大学の学生樺美智子が¹³⁾圧死するという事件も起きている。結局、条約批准案は衆議院で議決され、参議院での議決を経ないまま成立した。条約が発効するのを見届けた岸内閣は総辞職し、（ト）首相が率いる新たな内閣が成立すると、60年安保闘争は収束に向かった。

1960年代半ばから1970年代にかけて、＜か＞戦争、新安保条約の延長、大学のあり方などに疑問を投げかける学生の運動が、様々な大学で繰り広げられた。東京大学で

は、1968年の医学部での紛争をきっかけとして、大学占拠や休講が続いた。1969年1月には、安田講堂に立てこもる運動家と機動隊との激しい攻防戦が行われ、その年の東京大学の入試は行われないこととなった。

その後の学生運動のなかには、内ゲバと呼ばれる暴力を伴った抗争を繰り返したものがあつたため、運動は、次第に一般市民の支持を失っていく。赤軍派のメンバーが日航機をハイジャックして北朝鮮に亡命した「よど号ハイジャック事件」や、連合赤軍のメンバーが人質をとって長野県にある保養所¹⁴⁾に立てこもつた「(チ)事件」は、テレビの前の市民に強烈な印象を残したのであつた。

A. 文中の空所(イ)～(チ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>～<か>にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次のa～dから1つずつ選びその記号をマークせよ。

<あ> a. 英吉利法律学校 b. 専修学校 c. 東京専門学校 d. 東京法学社

<い> a. 石橋湛山 b. 上杉慎吉 c. 菊池武夫 d. 北一輝

<う> a. 大塚久雄 b. 高木貞治 c. 田口卯吉 d. 森戸辰男

<え> a. 梅謙次郎 b. 川島武宜 c. 佐々木惣一 d. 穂積陳重

<お> a. 寛容と忍耐 b. 自主外交 c. 戦後レジームからの脱却 d. 日米新時代

<か> a. アフガン b. イラン＝イラク c. 朝鮮 d. ベトナム

C. 文中の下線部1)～14)にそれぞれ対応する次の問1～14)に答えよ。

1. これに関する記述として正しいのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. 国防強化のために幕府が江戸に発足させた講武所が、その前身である

b. 幕府直轄の教育機関、昌平坂学問所が、その前身である

c. 幕府の翻訳事業などを担った蕃書調所が、その前身である

d. 明治政府の首脳陣を輩出した松下村塾が、その前身である

2. このときの文部大臣の名前をしるせ。

3. これが置かれた都市でないのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. 京城

b. 神戸

c. 台北

d. 名古屋

4. この人物の著書でないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 西国立志編 b. 西洋事情 c. 丁丑公論 d. 文明論之概略
5. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 憲法問題調査委員会が作成した改正草案をもとにして起草された法案が議会で提出された
- b. 制定に際して、GHQ は天皇制の廃止を命じたが、日本国内の強い反対にあって断念した
- c. 1946年5月3日に公布され、同年11月3日から施行された
- d. 法案は、衆議院および貴族院で、修正のうえ可決された
6. 以下は、これの抜粋である。これを読んで、下記の問 i・ii に答えよ。

第8条 天皇ハ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其ノ災厄ヲ避クル為緊急ノ必要ニ由リ
帝国議会閉会ノ場合ニ於テ法律ニ代ルヘキ (①) ヲ発ス (以下略)

第11条 天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス

第28条 日本 (②) ハ安寧秩序ヲ妨ケス及 (②) タルノ義務ニ背カサル
限ニ於テ信教ノ自由ヲ有ス

第29条 日本 (②) ハ法律ノ範囲内ニ於テ言論著作印行集会及結社ノ自由ヲ
有ス

- i. 史料中の空所①・②それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。
- ii. 史料中の下線部に関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 第11条が規定する統帥権とは、作戦、用兵などに関する軍隊の指揮統率権をいう
- b. 天皇の統帥権は、内閣から独立しており、天皇大権の1つに位置づけられていた
- c. 陸海軍を統帥する天皇に対して、参謀総長、軍令部長 (軍令部総長) が帷幄上奏権を有していた
- d. ワシントン海軍軍縮条約の締結に際して、統帥権干犯問題が発生した

7. この人物に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 第一次山本内閣のときに、尾崎行雄、犬養毅らによる第一次護憲運動がおり、内閣は退陣を余儀なくされた
 - b. 第一次山本内閣のときに、軍部大臣現役武官制を定め、陸軍大臣および海軍大臣は現役の大將または中將に限られるとした
 - c. 第二次山本内閣のときに、大蔵大臣の失言を発端とした銀行の取付け騒ぎがおり、これをモラトリアム（支払猶予令）で収拾した
 - d. 第二次山本内閣のときに、摂政宮裕仁親王（のちの昭和天皇）の暗殺未遂事件が発生し、内閣は退陣を余儀なくされた
8. これに関する以下の出来事 a～d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. 加藤高明が 3 党の連立内閣を組織した
 - b. 清浦奎吾が内閣を組織した
 - c. 憲政会が政友本党と合同して立憲民政党を結成した
 - d. 田中義一が立憲政友会の総裁となった
9. 以下は、これに関して『中央公論』1916年1月号に発表された論稿の一部である（なお、表記を若干修正してある）。著者の名前をしるせ。

洋語のデモクラシーといふ言葉は、今日実はいろいろの異^{ことな}った意味に用ひらるる。(中略) 一つは「国家の主権は法理上人民に在り」といふ意味に、又も一つは「国家の主権の活動の基本的目標は政治上人民に在るべし」という意味に用ひらるる。この第二の意味に用ひらるる時に、我々は之を民本主義と訳するのである。

10. この人物に関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 海軍大將をつとめた
 - b. 内閣総理大臣在任中に、『国防の本義と其強化の提唱』と題された陸軍の手によるパンフレットが配布された
 - c. 内閣総理大臣在任中に、日本は、ロンドン軍縮会議から脱退した
 - d. 二・二六事件で、暗殺された

11. この内閣が行ったことではないのはどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. LT 貿易の開始
 - b. 警職法改正案の国会提出
 - c. 教員の勤務評定の実施
 - d. 防衛力整備計画の発表
12. これに関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. これの調印時のアメリカ合衆国大統領はどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アイゼンハワー
 - b. ケネディ
 - c. ジョンソン
 - d. トルーマン
- ii. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アメリカ軍の極東における軍事行動に事前協議が定められた
 - b. アメリカの日本防衛義務が明文化された
 - c. これにともなって日米行政協定が締結された
 - d. 日本も防衛力を維持し発展させる義務を負うことになった
13. これに関する以下の出来事 a ~ d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. 右派が離脱し民主社会党を結成した
 - b. 右派と左派に分裂していたが、再統一を果たした
 - c. 社会民主党と改称した
 - d. 衆議院で第一党となり、内閣総理大臣を出した
14. この国（朝鮮民主主義人民共和国）が建国されたのはいつか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 1946年
 - b. 1948年
 - c. 1950年
 - d. 1952年

【以下余白】

